



考えられてきました。しかし、近年では、歯科領域以外の病気を有する、いわゆる有病者の患者さんが増加しており、それぞれの全身状態に応じた歯科治

療が求められるようになってきました。高齢社会の到来とともに、そうした全身疾患を持った患者さんを治療する機会が多くなってきました。

照会だけでなく検査データや現在の病状、治療状況の情報を得ることも必要になります。具体的には高血圧や不整脈、さらには脳梗塞や心筋梗塞などの既往があ

の歯科への紹介を選択したりする場合があります。これは患者さんの安全を最優先するためです。たとえ、腰痛などの整形外科疾患であっても、服用している薬などを把握しておくこ

全身の状態確認必要？

とも重要になります。現在では、糖尿病と歯周病の関連が大きいことも証明されていますし、骨粗し

【問い】歯が痛くて、治療のために歯科医院に行きました。問診票で全身の状態や内服薬のことを聞かれました。歯の治療とは関係ないと思うのですが、必要なのでしょうか。

(長崎市、68歳女性)

【答え】すばり必要です。

以前は歯科医療は健康な患者に行うものと捉えられ、歯科医師は自分の専門領域のみを対象にすればよいと



回答者

買原 一郎
長崎市田上2丁目
たがみ歯科医院院長

安全な治療へ情報を

安全な治療を行うためには、口だけでなく、全身状態を知り、それに対応した治療計画を作成することが必要なのです。

安全な治療を行うためには、口だけでなく、全身状態を知り、それに対応した治療計画を作成することが必要なのです。

たまた、薬の種類や状況によっては治療が制限されたり、大病院や総合病院

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。